

<b>2015-A</b>			
<b>国際機関名 (英語略称)</b>	Gaviワクチンアライアンス (Gavi)		
<b>英文名称</b>	Gavi, The Vaccine Alliance		
<b>種 別</b>	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 <b>その他</b>
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 外務省国際協力局国際保健政策室			
<b>【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】</b>			
Gaviは開発途上国の予防接種率を向上させることにより、子どもたちの命と人々の健康を守ることを目的として設立された官民パートナーシップ。2000年にスイスで設立。 主に以下4つの取組を対象73か国(一人あたりのGNIが1,580ドル以下の国々)で実施。 1. 既存のワクチン(例:5価ワクチン(ジフテリア, 破傷風, 百日咳, B型肝炎, インフルエンザ菌b型(Hib)), 黄熱病, 麻疹等)や新しく導入されたワクチン(例:肺炎球菌, ロタウイルス)の普及と使用の促進 2. 予防接種を効果的に提供するための保健システム強化 3. 国際的な資金調達の見込み可能性の向上及び国家の予防接種計画予算の持続性改善のための取組 4. 適切なワクチン市場の形成 Gaviのパートナーは、WHO, UNICEF, ゲイツ財団, 世界銀行, Gavi理事会は、ドナー国, 被支援国, WHO, UNICEF, 世界銀行, ゲイツ財団, 市民社会, 先進国・開発途上国の製薬会社等で構成。ドナーからの資金調達手段(拠出金)に加えて、ワクチン債(IFFIm)やワクチン事前買取制度(AMC)等の革新的資金調達手段を通じて長期に予測可能な資金源を確保する取組を行っている。			
<b>【当該国際機関の財政(2015年予算)】(千ドル)</b> 出典:【注1】			
当該年度の総収入額: 1,823,333			
当該年度の総支出額: 1,570,552			
次年度への繰越額: 6,306,073 (この内、使途既定額は5,908,267) ※持続可能性・安定性の観点から複数年プレッジが推奨されており、5か年戦略にて計画が策定される。 Gaviに対し、各国は5年間の単位で拠出を行っており、「次期会計機関への繰越額」には、①来年以降のプロジェクトに貼り付け済みの金額や、②実際にはまだキャッシュとして受け取っていない拠出金(プレッジ額)が含まれている。特に2015年に関しては、同年1月末に増資会合が行われ、各ドナーが一斉に誓約を行ったことから、例年より金額が多くなっている。			
会計検査機関名: KPMG LLP (現在の構成員の出身国: )			
<b>【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等 (5年単位のプレッジのため2011-2015年の総額)(2015年末時点)】</b> 出典:【注2】			
	国 名	金額(千百万米ドル)	拠出率(%) (注)
1位	英国	1,490	36
2位	米国	733	18
3位	ノルウェー	673	16
4位	スウェーデン	255	6
5位	オーストラリア	242	6
10位	日本	54	1
<b>【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 (2015年のもの)】</b>			
	国 名	金額(千単位・通貨)	拠出率(%) (注)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
<b>【当該国際機関で働く邦人職員】</b>			
邦人職員数	2人	当該機関全体の職員数	210人
うち幹部以上	うち 0人	及び邦人職員が占める率	1%
<b>【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】</b>			
ポストの名称	職員氏名	備考	
<b>【注: 当該国際機関の会計年度】</b>			
当該国際機関の会計年度は毎年1月から12月末までとなっている。したがって、我が国(及び他の加盟国)とは会計年度が異なっているため、拠出率の扱い等については暦年となっている。			
【注1】当該機関の報告書「2015 Annual Financial Report」による。			
【注2】当該機関のHP掲載の「Gavi Cash Receipts 2015」による。			